

第五章 令達通牒

五百五十六

(一一〇)四衛發第三百八十九號

横濱港内及市内各河川ニ碇泊又ハ航行スル五大力船若ハ達摩船等ニハ常ニ多數ノ鼠族棲息スル趣ニ有之候ニ付此際船舶ノ所有者ニ諭シテ捕鼠器ヲ設備セシメ各船少クモ五箇以上ノ捕鼠器ヲ配置シ鼠族ノ驅除ニ努ムル様御示諭ノ上其實行方法ニ就テハ充分御督勵相成度依命此段及照會候也

明治三十八年十二月六日

横濱水上警察署長宛

衛生課長

(一一一)神奈川縣令第五十二號

明治三十八年十二月十日

知事

神戸市又ハ大阪市ニ居住シ若ハ同地ニ宿泊シタルモノニシテ本縣内ニ來リタル者アリタルトキハ旅客ハ宿舍主ヨリ其他ハ戸主又ハ之レニ代ハルヘキ者ヨリ十二時間以内ニ所轄警察官署又ハ巡查駐在所若クハ巡查派出所ニ届出ヘシ

神戸市又ハ大阪市ヨリ貨物ヲ輸入シタルトキハ所有者又ハ管理者ハ其種類、數量ヲ記シ十二時間以内ニ所轄警察官署ニ届出ヘシ

前各項ノ人及物件並ニ之ト直接ノ關係アルモノニ對シテハ明治三十年三月法律第三十六號傳染病豫防法第十九條第一號、第四號、第七號及第九號ヲ適用スルコトアルヘシ

本令ニ違背シタル者ハ傳染病豫防法ニ明文アルモノヲ除ク外拘留又ハ科料ニ處ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(一二二)神奈川縣訓令第三十號

郡役所

警察署

警察分署

市役所

町村役場

神阪地方ニ於ケル「ペスト」病ノ流行ハ勢ヒ頗ル猖獗ヲ極メ患者並有菌鼠續々發生シ益々蔓延ノ虞有之候ニ付テハ本縣ノ如キ該地方ト汽船船舶等ノ交通頻繁ナル地ニ於テハ何時病毒ノ侵襲ヲ蒙ルヤモ量リ難クニ付此際左記各項ニ依リ豫防方法ヲ嚴行シ防疫上遺算ナキヲ期スヘシ

明治三十八年十二月十日

知事

一 一般鼠族ノ驅除ヲ獎勵スルコト

二 貨物陸揚場、停車場、其ノ他貨物集散場、穀類、棉花等ノ取扱店及同上倉庫等ニ對シ除鼠的清潔方法ヲ施行スルコト

三 流行地方ヨリ來リタル者アルトキハ市町村醫ヲシテ健康診斷ヲ行ハシムルコト

四 急性發熱患者急病死者ノ病症ニ注意シ其ノ疑アルモノニ對シテハ市町村醫ヲシテ診斷又ハ檢案セシムルコト

五 船夫、船行人足、木賃宿、人足請宿、運漕業者、襪襪商、古着古綿商、古麻囊商、古羽毛商、古皮革商、細民部落等該病豫防上注意ヲ要スル者ノ健康状態ヲ視察スルコト

(一二三)四衛發第三百九十三號

「ペスト」病豫防ニ關シ今般縣令第五十二號及訓令第三十號發布相成候ニ付テハ所轄警察官署長ト協議ノ上左記各項ニ依リ御施行相成度依命此段及通牒候也

明治三十八年十二月十三日

第四部長

第五章 令達通牒

五百五十七

第五章 令達通牒

五百五十八

各郡市長宛

- 一 警察官署長ヨリ縣令第一項該當者ノ通知ヲ受タルトキハ速ニ市町村醫ヲ派シ健康診斷ヲ行ハシムルコト
 - 一 縣令第二項ノ貨物ヲ積入レタル倉庫又ハ家屋ニ對シテハ五日間以上殺鼠劑又ハ捕鼠器ヲ以テ除鼠ヲ勵行スルコト
 - 一 縣令第一項第二項ノ届出ヲ怠リ爲メニ縣令違犯者ヲ生スル如キ事ナキ様衛生組合長ヲシテ組合内ニ戒告セシムルコト
 - 一 訓令第二號ノ清潔方法ハ本月十五日ヨリ明年一月盡日迄ノ間ニ於テ當該吏員監視ノ下ニ施行スルコト
- 但シ去月來施行濟ノモノハ引續キ驅鼠ヲ行フノミニテ差支ナシ

(一一四) 示令第六十七

警察 署
警察 分 署

「ベスト」病豫防ニ關シテハ從來屢々訓示又ハ主務課長ヲシテ夫々通牒セシメ置タルヲ以テ今ヤ殆ント違算ナキヲ信スルモ本年九月以來神戸大阪兩市ニ於ケル該病ノ流行ハ勢ヒ頗ル猖獗ヲ極ムルヲ以テ之ガ防遏ノ爲メ今般縣令第五十二號及訓令第三十號發布相成タルニ付左記各項ニ依リ施行シ該病豫防上違算ナキ様注意スヘシ

明治三十八年十二月十三日

警 務 長

- 一 縣令第一項ノ届出ヲ受タルトキハ直チニ市町村ニ通知シ醫師ヲシテ健康診斷ヲ行ハシメ其結果ヲ報告スルコト
 - 一 縣令第二項ノ届出ヲ受タルトキハ直ニ臨檢差出所ヲ取調ベ且貨物ヲ積入シタル倉庫又ハ家屋ニ對シテハ五日間以上殺鼠劑又ハ捕鼠器ヲ配置シ鼠族ノ驅除ヲ行ヒ其結果ヲ報告スルコト
- 但貨物ヲ他ヘ移轉シタルトキハ報告ト同時ニ移轉先ヘ通知スルコト

- 一 前項ノ貨物ニシテ病毒汚染ノ虞アルトキハ直ニ指揮ヲ受クヘシ
- 一 訓令第二號ノ清潔方法ハ市町村ト協議ヲ遂ケ本月十五日ヨリ明年一月盡日迄ノ間ニ於テ當該吏員監視ノ下ニ嚴重施行スルコト但去月以來施行濟ノモノハ引續キ驅鼠ヲ行ハシムルノミニテ差支ナシ
- 一 訓令第四號ノ患者及死者ニ對シテハ常ニ注意ヲ密ニシ其ノ疑アリト認メタルトキハ直ニ市町村醫ノ派遣ヲ求メ診斷又ハ檢案セシムルコト
- 一 訓令第五項ノ健康視察ハ管區巡查ヲシテ之ヲ行ハシメ其ノ結果ハ月表ヲ以テ報告スルコト
- 一 縣令第一項第二項ノ届出ヲ怠ル者ナキ様常ニ注意シ違犯者ハ相當處分スルコト

(一一五) 神奈川縣令第五十五號

明治三十八年^六神奈川縣令第二十七號ヲ廢止ス

明治三十八年十二月二十六日

知 事

(一一六) 神奈川縣令第十四號

倉庫取締規則左ノ通り之ヲ定ム

明治三十九年三月六日

知 事

倉庫取締規則

第一條 本則ニ於テ倉庫ト稱スルハ倉庫業者、運送業者、問屋、工場、製造所ニ於テ使用スル倉庫(納屋、物置藏、^{レニ}ニシテ棉花、穀類、及其粉類、落花生、豆粕、其他搾粕、羽毛、皮革、屑繭、襪襪、古麻布、古敷物、古俵袋類ヲ收藏スルモノヲ謂フ)

第二條 倉庫ヲ新設セムトスル者ハ着手前左ノ事項ヲ具シ所轄警察官署ニ届出認可ヲ受クヘシ其改築増築變更セムトスルトキ亦同シ

第五章 令達通牒

五百五十九

第五章 令達通牒

五百六十

一 位置

二 構造仕様書及敷地周囲ノ畧圖

三 收藏物品ノ種類

第三條 倉庫ノ構造ハ左ノ制限ニ從フヘシ

- 一 内部ノ地盤ハ板石、燒過煉瓦、又ハ厚サ一寸以上ノ「アスフワルト」、厚サ二寸以上ノ「セメント」敲キ、ト爲シ石、又ハ煉瓦ヲ用フルトキハ其接合部ニセメント、モルタル、ヲ以テ填充スルコト
- 二 但其上面ニ板床ヲ設クルトキハ容易ニ取外シ得ル様構造スルコト
- 三 土藏造ニシテ構造不完全ナルモノ又ハ木造ナルトキハ其周壁ノ内部及屋根裏ヲ金屬板張トナスコト
- 四 出入口ニハ嚴重ナル戸扉ヲ設ケ其内部ヲ金屬板張トナスコト
- 五 但網戸ニ在リテハ木製部分ヲ金屬板ヲ以テ被包スルコト
- 六 窓及其他ノ孔隙ニハ金網ヲ被フコト
- 七 其位置河海ノ涯岸ニ接スルトキハ其護岸ヲ石垣トナシ鼠ノ出入棲息セサル様構造スルコト
- 八 倉庫ニ沿フタル下水溝渠ハ石、煉石瓦、コンクリート、又ハ陶管、ヲ以テ築造シ其兩端ニハ金網ヲ被フコト

第四條 現在ノ倉庫ノ所有者又ハ管理人ハ本則施行ノ日ヨリ六十日以内ニ第二條ノ事項ヲ具シ所轄警察官署ニ届出ヘシ

其改築増築又ハ變更セムトスルトキハ第二條ニ準シ届出認可ヲ受クヘシ

第五條 現在ノ倉庫ニシテ第三條ノ制限ニ適合セサルモノハ本則施行ノ日ヨリ三箇年以内ニ改築又ハ修理スヘシ
前項ノ期限内ト雖トモ特ニ必要ヲ認ムルモノニ對シテハ一定ノ期限ヲ定メ第三條ノ制限ニ依ラシムルコトアルヘシ

第六條 本則第二條第四條第二項ノ工事落成シタルトキハ所轄警察官署ニ届出使用ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ五日以内ニ所轄警察官署ニ届出ヘシ

但第三號ノ場合ハ双方連署スヘシ

- 一 倉庫ノ一部又ハ全部ヲ廢止シタルトキ
- 二 第二條ニ掲クル物品ノ收藏ヲ廢止シタルトキ
- 三 所有者又ハ管理人ヲ更改シタルトキ

第八條 倉庫ノ戸扉ハ物品ノ出入其他止ヲ得サル場合ノ外濫リニ開閉スルコトヲ得ス

倉庫ハ毎年四回以上驅鼠の清潔方法ヲ施行シ所轄警察官署ニ届出検査ヲ受クヘシ

第九條 左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ第一條ニ掲クル物品ノ收藏ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

- 一 倉庫ノ構造不完全ナル場合ニ改築又ハ修理ヲ命セラレ其命ニ從ハサルトキ
- 二 第五條第二項ノ期限内ニ改築ノ命ニ從ハサルトキ

第十條 倉庫ニハ別記様式ノ帳簿ヲ備ヘ置キ收藏物品ノ出入毎ニ相當欄内ニ記スヘシ

第十一條 第一條以外ノ營業者ノ使用スル倉庫ニシテ同條ニ掲クル物品ヲ收藏スルモノニモ本則ヲ適用スルコトアルヘシ

家屋ノ一部ヲ倉庫ニ代用スルトキ又同シ

第十二條 警察官吏、衛生官吏ハ隨時倉庫ニ臨檢シ又ハ第十條ノ帳簿ヲ検査スルコトアルヘシ

第十三條 左ニ掲クル者ハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 第二條第三條第四條第二項及第五條第一項ニ違背シタル者
- 二 故意ニ第十條ノ帳簿ヲ毀損亡失シ又ハ虚偽ノ記入若ハ改竄ヲ爲シタル者
- 三 禁止又ハ停止中ノ倉庫ニ物品ヲ收藏シタル者

第十四條 左ニ掲クル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第五章 令達通牒

五百六十一

第五章 令達通牒

- 一 第四條第一項第六條第七條第八條及第十條ニ違背シタル者
 - 二 第十一條ノ命令ニ從ハサル者
 - 三 第十二條ノ臨檢又ハ帳簿ノ檢査ヲ拒ミ若ハ其尋問ニ對シ答辨ヲ爲サス又ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者
- 第十五條 法人ノ業務ニ關シ本則ニ違背シタルトキハ代表者其責ニ任ス

附則

第十六條 本則ハ明治三十九年四月一日ヨリ施行ス

第十七條 本則ハ橫濱市内ニ限リ之ヲ施行ス

(樣式)

物品名	數量	受入月日	搬出月日	積入先	搬出先	荷主又ハ管理人ノ住所氏名

參照明治四十年六月縣令第六十八號ヲ以テ捕鼠器ノ設備方ニ付一部追加

(一一七) 示令第四十三號

倉庫取締規則施行手續左ノ通之ヲ定ム

市內警察署
警務長

明治三十九年三月二十日

倉庫取締規則施行手續

第一條 規則第四條第一項ノ届出ヲ受理シタルトキハ別記様式ノ臺帳ニ記入スヘシ

第二條 規則第六條工事落成ノ届出ヲ受理シタルトキハ警部又ハ巡查部長ヲシテ規則第三條ノ制限ニ適合スルヤ否ヤヲ檢査セシメ不都合ナキトキハ之ヲ認可シ別記様式ノ臺帳ニ記入スヘシ
其構造不完全ニシテ第三條ノ制限ニ適合セサルモノニ對シ不認可セムトスルトキハ處分前警務長ニ稟議スヘシ

第三條 規則第五條第二項ニ依リ改築ヲ命セムトスルトキハ其事由ヲ具シ警務長ニ稟議スヘシ

第四條 規則第八條第二項ノ清潔方法ハ三月、六月、九月、十二月、ニ之ヲ施行セシムヘシ收蔵物品ノ都合ニ

依リ前項期日ニ施行シ難キ事情アルトキハ適宜變更スルコトヲ得

第五條 規則第九條ニ依リ物品ノ收蔵ヲ禁止又ハ停止ノ必要アリト認ムルトキハ其事由ヲ具シ速ニ知事ニ稟議スヘシ

參照明治四十年六月示令第五十一號ヲ以テ捕鼠器設備ノ縣令取扱方示達

起工認可年月日	指令番號	落成生日日	廢止年月日	備考	位置		所有者ノ族					
					收蔵物品種類	概構造ノ要	氏名	籍住所職業				
							生年月日	生年月日				

(一一八)神奈川縣令第三十一號

明治三十八年^{十二月}神奈川縣令第五十二號中第一項及第二項ニ「神戸市又ハ大阪市」トアルヲ「神戸市大阪市下ノ關市及兵庫縣津名郡洲本町山口縣豊浦郡王司村並ニ廣島縣佐伯郡大竹村」ト改ム

明治三十九年六月五日

知

事

(一一九)神奈川縣訓令第二十二號

郡 役 所
警 察 署
警 察 分 署
市 役 所
町 村 役 場

今ヤ氣候各種傳染病發生ノ時期ニ遭遇ス已ニ本年初發以來患者四百五十八名ヲ算スルニ至ル之レガ豫防施設ニ關シテハ屢々令達スル所アリ各自ハ敢テ忽ニセサルヘキヲ信スルモ近日來ノ梅雨ト農事ノ繁忙期節トハ清潔保持ノ上ニ於テ多大ノ支障ヲ來シタリト思量スルニヨリ此際完全ナル清潔法ヲ施行シ病勢ノ未タ甚シカラサルニ先ダチ之ヲ制壓シテ豫防ノ目的ヲ達スルニ遺算ナキヲ期スヘシ

明治三十九年七月十日

知

事

(一二〇)四衛發第二百四十四號

神戸大阪兩市及山口廣島兩縣下ニ於ケル「ベスト」病ハ益有毒地域擴大ノ模様有之初發以來合計三百三十四名本年發病百十名ノ多數ヲ算スルニ至ル而シテ此等ノ地方ト交通最頻繁ナル當市ノ如キハ何時該病ノ侵襲ヲ受ク

ルヤモ測リ難ク時季恰モ傳染病發生ノ候ニ際シ轉々憂慮ニ堪ヘサル儀ニ候處今日訓令第二十二號御發布相成候ニ付テハ市内全般ニ對シ驅鼠の清潔方法施行候様致度尙其施設方法ハ客年七月十日四衛發第二百五十三號添付方法書ニ準據相成度依命此段及通牒候也

明治三十九年七月十日

第 四 部 長

橫濱市長宛

追テ前記方法書中第二號ノ施行期日ハ所轄警察署長ト御協議ノ上御決定相成度候也

(一二一)四衛發第二百四十四號

本日御發布相成候訓令第二十二號ノ御趣旨ニ基キ當市全般ニ對シ驅鼠の清潔方法施行ノ件ニ付別紙ノ通牒濱市長へ御通牒相成候ニ付テハ市長ト御協議之上嚴重御施行其成績ハ日表ヲ以テ御報告相成度依命此段及通牒候也

明治三十九年七月十日

衛 生 課 長

追テ本件施行方法書ハ客年七月十日四衛發第二百五十三號ヲ以テ御送付致置候條爲念申添候

(一二二)神奈川縣令第六十六號

傳染病豫防法第十九條ニヨリ橫濱市全部ニ驅鼠の清潔方法ノ施行ヲ命ス土地家屋其他建物ノ占有者又ハ所有者ハ當該吏員ノ指示スル日時並ニ方法ニ依リ施行スヘシ

明治三十九年十一月二十九日

知

事

(一二三)四衛發第四百七號

關西地方ノ「ベスト」ハ日ヲ逐フテ猖獗ヲ極ムルノ模様ナルニヨリ本縣ニ於テモ百方警戒中之處客月中三頭ノ有菌鼠ヲ發見セルニヨリ之レガ豫防上驅鼠の清潔方法施行ノ必要ヲ認メラレ縣令第六十六號御發布相成候ニ付

第五章 令達通牒

五百六十六

テハ從來ノ施設方法ニ準據スルノ外左記業體家屋ニ對シテハ必ス當該吏員監督ノ下ニ施行セシムル等特ニ注意ヲ加ヘ物置場物置小屋等鼠ノ多カルヘキ場所ニハ内面若ハ外面ニ亞鉛板ヲ(横ニ)圍繞シ鼠ノ逃逸ヲ防ク等嚴重御施行相成候様致度依命此段及通牒候也

明治三十九年十二月三日

第四部 部長

横濱市長宛

左記

米穀商、乾物商、燒芋屋、落花生、橙樓、紙屑、古綿、麻袋商、俵商、アンペラ商、塵船營業者、艦船行商者、及此等ノ從業者ノ營業場、並ニ居宅、波止場、船舶、税關等へ出入スル人夫及是等ニ準スヘキ業體

(一一四) 示令第四百二十號

市内各警察署

客月二十九日付縣令第六十六號ニ基キ當市全般除鼠の清潔法施行ノ件ニ付別紙之通横濱市長ニ通牒致置候條該施行日時及方法等市長ト協議シ嚴重施行ノ上其成績日表ヲ以テ報告セラルヘシ

明治三十九年十二月三日

第四部 部長

(一一五) 示令第四十四號

横濱市内警察署

「ベスト」豫防ニ關シテハ從來訓達セルコト一再ナラス各員ハ克ク其趣旨ヲ體シ該事務ニ盡瘁セラレタル結果去ル三十六年十一月以降一名ノ患者ヲ出サ、リシニ本月二十三日突然西戸部町ニ一患者ヲ發生スルニ至ル此際層一層ノ奮勵ヲ以テ關西地方ノ如ク病毒ヲ散播セシメサル様警戒ヲ嚴ニシ特ニ左記事項ヲ即時執行セラルヘシ

明治四十年五月二十七日

警務 部長

左記

從來旬報トシテ報告セル健康視察ハ日報ニ改メ後記事項ヲ決行スルコト

- 一 船行人夫、運送人夫、船夫等ノ雜居スル部落及木賃宿ノ所在地
- 二 艦船行商塵船營業者ノ住所附近及米穀商古物商其他細民部落等該病毒ニ因縁アル場所
- 三 前二項ノ場所ヲ注意區域トシ日々健康視察ヲ爲シ病者ヲ發見シタル時ハ直ニ第四部ニ報告シ檢疫委員ノ診斷ヲ受ケシムルコト

(一一六) 神奈川縣訓令第三十四號

横濱市役所

其市ニ於テ「ベスト」病流行ノ虞アルニヨリ傳染病豫防委員ヲ設置シ檢疫豫防ノ事ニ從ハシムヘシ

但委員ノ氏名ハ當廳及市中警察署ニ報告スヘシ

知事

明治四十年六月七日

(一二七) 神奈川縣令第六十三號

横濱市外ヨリ市内ニ鼠族ヲ輸入シ又ハ市内ニ於テ之レガ飼養繁殖ヲ計リタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十年六月八日

知事

(一二八) 示令第四十七號

横濱市内各警察署

横濱市ニ於テ鼠族ノ買収ヲオヌク奇貨トシ市外ヨリ密ニ輸入シ又ハ飼養繁殖セシメテ買上ヲ求ムルモノ少サカ

第五章 令達通牒

五百六十七

第五章 令達通牒

五百六十八

ラサルヤノ聞ヘアリ是等ノ弊害ヲ杜絶スル爲メ今回縣令第六十三號ヲ發布セラレタルニ付テハ嚴密之レガ取締ニ注意シ苟クモ違犯者ヲ發見セハ假借ナク處置セララルヘシ

明治四十年六月八日 警務長

(二一九)四衛發第二三〇號

横濱市外ヨリ鼠ヲ輸入シ又ハ飼養繁殖ヲ計ルモノ取締方ニ付今般第四十七號ヲ以テ示令相成候處鼠族中ニハ南京鼠白鼠等ヲモ包含スルハ勿論ノ義ニ有之殊ニ白鼠ノ赤子ハ家鼠ノ夫レト見分ケ難キモノニ付小動物商等ニハ特ニ御注意相成度候併シ從來ヨリ興行師等ニ於テ飼養シ來リタル白鼠南京鼠ハ雌雄孰レカノ一ニシテ爾後繁殖セシメサルニ於テハ其儘飼養セシムルモ差支ナキモノト被存要スルニ弊害杜絶ノ目的ヲ達セントスルノ御趣旨ニ付寬嚴宜シキニ從ヒ御取締相成度依命此段及御通牒候也

明治四十年六月八日

市内各警察署長宛

衛生課長

(二三〇)神奈川縣令第六十四號

「ベスト」豫防上必要ト認メ横濱市内及橋樹郡保土ヶ谷町ヨリ襪、古着、古綿、古紙、古革皮、古羽毛、古麻襪、古俵、古菰、古敷物類及掃キ寄セ米穀綿屑等ヲ他地方ニ搬出スルコトヲ禁ス但シ相當消毒ノ上警察官署ノ許可ヲ得其ノ證明書ヲ受ケタル者及無病地ヨリ輸入ニ係リ其包裝ヲ解カサルモノニシテ病毒汚染ノ虞ナシト認メタルモノハ此ノ限リニ在ラス
本令ニ違背シタルモノハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年六月十一日

知事

(二三一)示令第四十八號

今般神奈川縣令第六十四號御發布相成候ニ付テハ其消毒方法其他左記之通り取扱ハルヘシ

横濱市内各警察署

一 襪襦古綿古着古紙古麻袋古敷物掃寄物等ニハ蒸氣消毒若クハ煮沸消毒ヲ行ヒ古俵古革皮古羽毛ニハ藥品消毒ヲ行フコト

一 消毒濟ノモノニ對シテハ左記一號様式ノ證明書ヲ交付シ無病地ヨリノ輸入ニシテ病毒汚染ノ虞ナシト認メタルモノニハ第二號様式ノ證明書ヲ交付スヘシ

明治四十年六月十一日

警務長

第一號様式

第 號

搬出許可證明書

一 種類

一個數

一 數量

一 荷主氏名

一 輸送地名

右ハ消毒濟

年 月 日

神奈川縣

何警察署

第二號様式

第 號

搬出許可證明書

一 種類

一個數

一 數量

一 荷主氏名

一 輸送地名

右ハ「ベスト」無病地ヨリ輸入シ包裝ヲ解カサルモノニシテ該病毒汚染ノ虞ナキモノト認ム

年 月 日

神奈川縣

何警察署

第五章 令達通牒

五百七十

(三三三)神奈川縣令第六十八號

明治三十九年三月神奈川縣令第十四號倉庫取締規則中左ノ通り改正シ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
 第八條ヲ第八條ノ一トシ同條第二項中倉庫ハノ下「所有者占有者又ハ管理人ニ於テ」ノ十四字ヲ加フ
 第八條ノ二、倉庫ノ所有者占有者又ハ管理人ハ倉庫ノ戸前毎ニ相當ノ捕鼠器ヲ設備シ所轄警察官署ノ指示ニ從
 ヒ除鼠方法ヲ施行スヘシ

明治四十年六月二十日

知事

(三三三)示令第五十一號

横濱市内各警察署(水上署ヲ除ク)

這般縣令第六十八號ヲ以テ倉庫取締規則ノ一部改正セラレ倉庫業者ニ對シ除鼠方法執行ニ關スル設備ヲ命セラレ候ニ付テハ其設備并ニ施行方法等左記標準ニ依リ取扱フヘシ
 一 普通ノ捕鼠器ヲ使用スル者ニアリテハ左記標準數ニ依リ毎日交換配置セシムルヲ要ス
 但シ契約等ノ事由ニヨリ貨物保管上倉庫管理者ニ於テ毎日捕鼠器ノ配置ヲ敢行スル能ハサルモノト認定スルトキハ開閉ノ都度交換配置ヲ爲サシムルコトヲ得
 各戸前五十坪以下ハ各戸前ニ對シ捕鼠器五個以上複式捕鼠器ナレハ二個以上毎戸前五十坪以上ハ五十坪未滿ヲ増ス毎二三個以上複式ナレハ壹個以上ヲ増スコト
 前記但書ノ場合ニ於テハ複式大捕鼠器ヲ使用スルコト
 一 倉庫業者ハ倉庫所在地域毎ニ除鼠主任ヲ定メ置キ別記様式ノ帳簿ニ記入セシムルコト
 但毎倉庫一區域内ニ三十戸前以上ノ倉庫ヲ有スル者ニアリテハ除鼠專任ノ社員一人以上ヲ置キ本事業ヲ

擔任セシムルコト

專任者又ハ主任者ノ氏名並ニ從事人數ハ所轄署ニ届出サシムルヲ要ス

明治四十年六月二十日

警務長

別記

甲 號 (倉庫業者ノ管理スルモノ)

倉庫番號	坪數	捕鼠器種類	餌ノ種類	配置數	捕鼠數	摘	要
月日計							

乙 號 (貨物ノ保管上開閉ノ都度配置ヲナスモノ)

配置月日	開戸月日	倉庫番號	坪數	餌ノ種類	配置數	捕鼠數	摘	要
月日計								

(三三四)神奈川縣令第六十九號

傳染病豫防法第十九條ニ依リ横濱全市ニ除鼠的清潔方法ノ施行ヲ命ス當該吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ消毒方法ノ施行ヲ命スルコトアルヘシ
 土地家屋其他建物ノ所有者又ハ占有者ハ當該吏員ノ指示シタル期日及方法ニ依リ施行スヘシ

第五章 令達通牒

五百七十一

(一三五) 示令第五二號

明治三十六年十一月十一日 示令第百〇五號 交通遮斷區域内消毒方法左ノ通改正ス
明治四十年六月二十一日

交通遮斷區域内消毒方法

警察分署
警察署
檢疫委員
檢疫員
檢疫委員長

第一條 交通遮斷ノ區域確定シタルトキハ直ニ亞鉛板(著シク土壤ヲ附着シ又ハ穿孔シテ鼠ノ攀上通逃ノ虞アルモノヲ用フヘカラス)ヲ以テ圍障ヲ設ケ鼠ノ遁竄ヲ防クヘシ

第二條 圍障ノ構造及鼠族防禦ノ方法ハ左記各號ニ依ルヘシ

第一 圍障ノ高さハ六尺以上トシ其接合部及地面ノ接着部ハ空隙ナキ樣緊密ニ築造スルコト

第二 遮斷家屋ト圍障トノ水平距離ハ少クモ五尺以上タルコト但シ家屋ノ構造ニ依リ以上ノ距離ヲ保チ難キ場合ハ適當ノ構造ヲ爲スコトヲ得

第三 下水口及流シノ水吐口ハ大小ニ拘ハラズ金網ヲ壅塞シ鼠ノ出入ヲ防クコト

第三條 遮斷内ハ遮斷當日ヨリ殺鼠劑及捕鼠器ヲ配置シ消毒施行前鼠族ノ全滅ヲ期スヘシ

第四條 消毒施行ハ病毒ノ最モ稀薄ナル部分(患家ヲ距ル遠キ部分)ヨリ開始シ漸次濃厚ト認ムル部分ニ及ホスヘシ但シ患家ノ消毒ハ最後ニ施行スヘシ

第五條 消毒ハ用意周匝ニシテ遺漏ナキヲ期シ兼テ清潔法ヲラシメ且ツ専ラ除鼠ニ注意シ生鼠ハ追究捕殺ス

第六條 遮斷内ノ消毒數日ニ涉リテ施行スルトキハ施行ノ前日ニ於テ豫メ一日分ヲ區畫シ其區域毎ニ圍障ヲ設ケ結了シタル部分ニ鼠ノ竄入セサル様措置スヘシ

第七條 家屋倉庫物置其他ノ建造物内ノ疊建器具其他移動シ得ヘキ物品ハ全部屋外ニ搬出シタル後消毒ニ着手スヘシ

第八條 家屋倉庫物置器具其他ノ消毒方法ハ左記各項ニ依ルヘシ

第一 家屋倉庫物置其他ノ建造物

一 建物ノ消毒ハ前條物品ノ搬出及本條第二項第四項第五項ノ取外シヲ爲シタル後着手スルコト

二 建物ハ一部ツ、消毒スルトキハ鼠ハ他ノ部分(假令ハ階上消毒ノトキ階下ヘ竄入スル等)ヘ潜伏スルノ虞アルニ付一棟又ハ數棟ツ、同時ニ施行スルコト但鼠ノ潜伏又ハ遁竄ノ虞ナキトキハ此限ニアラス

三 家屋消毒ノ際ハ可成家族ヲ立退カシムルコト但シ前條物品ノ搬出ヲ補助セシメ又ハ貴重品監理ノ爲メ立會セシムル場合ハ此限リニアラス

第二 天井(床ノ間押入共)

一 全部取外スコト但其構造ノ如何ニヨリ屋根裏其他ノ鼠ノ搜索并ニ消毒上支障ナキモノハ此限ニアラス

二 消毒ハ唧筒ヲ以テ石炭酸水又ハ昇汞水ヲ灌クコト但昇汞水ヲ用ヒタル場合ハ消毒後更ニ淨水ヲ以テ洗滌スヘシ

第三 屋根及屋根裏

一 藁葺、茅葺屋根ハ全部取除キ燒却スルコト

但全然鼠ノ棲息又ハ通行シタル虞ナシト認ムルトキハ此限リニアラス

二 板葺家根若クハ瓦葺ハ鼠ノ棲息又ハ通行ノ虞アル部分ヲ取外シ「ポンプ」ヲ以テ昇汞水又ハ石炭酸水

第五章 令達通牒

ヲ灌クコト

三 屋根裏及梁上ニハ「ポンプ」ヲ以テ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ灌クコト

第四 羽目板（内壁共）

羽目板ハ全部取外シ表裏共昇汞水又ハ石炭酸水ヲ以テ消毒スルコト但羽目板ト相對スル内壁ハ「ポンプ」ヲ以テ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ灌クコト

第五 床（床板及押入共）

一 床板ハ全部取外シ石炭酸水又ハ昇汞水ヲ以テ消毒スルコト但シ其構造又ハ床下ノ狀況ニヨリ鼠ノ搜索及消毒上支障ナキモノハ全部ヲ取外サルモ妨ナシ

二 患家ノ床下ハ地下一尺乃至三尺ヲ掘起シ鼠穴ノ有無ヲ檢シ石灰乳ヲ以テ消毒スルコト但堅牢ナル「コンクリート」又ハ漆喰敲キ若クハ「アスファルト」敲キノ類ニシテ鼠ノ侵入スル虞ナキ場合ハ掘起スルノ限リニアラス

三 患家以外ノ家屋ノ床下ハ石灰乳ヲ以テ消毒スルコト但シ地中ニ鼠穴アリテ鼠ノ侵入シタル虞アル場合ハ掘起シテ消毒スヘシ

四 第二號第三號ノ消毒ハ石灰乳ヲ以テスルヲ原則トスルモ酸化石灰又ハ水酸化石灰ノ存在セサル場所ニ限リ昇汞水ヲ代用スルコトヲ得

第六 井、下水及流シ元

一 井ハ石灰乳ヲ以テ消毒シ後井戸換ヲナスコト

二 木造ノ下水樋ハ樋及其周圍ハ凡一尺ヲ掘起シ鼠又ハ鼠穴ヲ檢シタル後石灰乳ヲ以テ消毒スルコト但昇汞水ヲ以テ代用スルコトヲ得

三 石造又ハ磁陶器ヲ以テ築造シタル下水ニシテ構造堅牢ノ爲メ其周圍ニ鼠ノ棲息又ハ通行シタル形跡ナキトキハ掘起スルコトナク單ニ内部ノ消毒ヲナスコト

四 流シ元ハ土地ニ附着シタルモノハ必ス取外シ鼠穴ノ有無ヲ檢シ石灰乳ヲ以テ消毒スルコト

第七 疊建具器具及衣類等

一 疊建具及器具ハ石炭酸水ニテ擦拭又ハ撒注消毒スルコト但雨戸及戸袋内ハ昇汞水ヲ用フルコトヲ得

二 衣類ハ蒸氣消毒又ハ石炭酸水ニ浸漬消毒スルコト

三 物品ノ種類（商品ノ煙草、紙類等）ニ依リ蒸氣消毒又ハ藥物消毒ニ適セサルモノニ對シテハ警務長ノ指揮ヲ受ケ日光消毒ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ日光曝露八時間以上タルヘシ

衣類及器具ニシテ豫テ相當ノ容器ニ收藏シ病汚染ノ虞ナシト斷定シ得ルモノハ外部ノミノ消毒ニ止ムルコトヲ得

第八 建物ノ内外

一 屋内ハ都テ石炭酸水ヲ灌キ消毒スルコト

二 戸棚、戸袋、神佛棚、椽側、臺所、梁上及押入ノ裏面ニアル鴨居ノ上面并ニ長押ノ上面ノ如キ荷クモ鼠ノ通行シ得ヘキ部分ハ特ニ注意シテ消毒スルコト

三 文庫藏ニシテ石造煉化造又ハ堅牢ナル土藏等ハ鼠穴鼠糞等ヲ檢シ又ハ餌ヲ投シテ之ヲ試ミ全ク鼠ノ棲息又ハ通行シタルコトナシト確認シタル場合ハ警務長ノ指揮ヲ受ケ消毒ヲ省畧スルコトヲ得

四 外壁ハ陰濕且ツ鼠ノ通行シ得ヘキ部分ハ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ以テ消毒スルコト

第十條 遮斷内地層ノ表面ハ道路ヲ除クノ外石灰乳、昇汞水、石炭酸水又ハ燒却法ニ依リ消毒スヘシ

第十一條 第八條第三項一號ノ場合及傳染病豫防法第十九條ノ二第一項ノ處分ヲ要スルトキハ速ニ知事ニ具申スヘシ

第十二條 昇汞水ハ井戸端、臺所、寢室、居室、押入、戸棚、衣類、飲食器、金屬裝置アル部分及酸化石灰若クハ水酸化石灰ノ存在セル場所ニハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

警察署
警察分署
檢疫委員
醫員

明治三十六年十一月十一日 示令第一百號特別消毒的清潔法施行方法左ノ通改正ス
明治四十年六月二十一日

檢疫委員長

特別消毒的清潔法施行方法

第一條 豫防區域内(交通遮斷地ノ附近)及特ニ指定シタル場所ハ此規程ニ依リ消毒的清潔方法ヲ施行スヘシ

第二條 清潔法施行區域ハ高サ三尺以上ノ亞鉛板(著シク土塊ヲ附着シ又ハ穿孔シテ鼠ノ攀上遁逃ノ虞アルモノヲ用フヘカラス)ヲ以テ圍障ヲ施シ下水ニハ金網ヲ以テ鼠ノ遁竄ヲ防クヘシ但シ通路ハ之ヲ開キ交通ヲ自由ナラシムルト雖モ曉方及薄暮ハ特ニ鼠ノ遁竄ニ注意シ且日没ヨリ日出迄ハ亞鉛板ヲ以テ周密閉鎖スヘシ

第三條 前條區域ニハ毎日終了シ得ヘキ區域ヲ限リ施行前日更ニ小圍障ヲ設ケ着手スヘシ但シ結了シタル部分ハ開放スルヲ得

第四條 清潔法施行前少クモ三日以上捕鼠器及殺鼠劑ヲ配置シ除鼠ヲ勵行スヘシ

第五條 清潔法ハ病毒ノ最モ稀薄(假令ハ遮斷地ヨリ最モ距タリタル部分)ヨリ開始シ漸次濃厚ト認ムル部分ニ及ホスヘシ

第六條 本清潔法ハ主トシテ鼠ノ搜索ニ努メ且消毒的ナルヲ要ス

第七條 家屋ハ倉庫物置其他ノ建造物内ノ疊建具什器其他移動シ得ヘキ物品ハ全部屋外ニ搬出シタル後着手スヘシ

第八條 家屋倉庫其他ノ建物ハ流シノ全部及羽目板ノ全部又ハ其過半天井床板押入ノ座板等ハ一部又ハ全部ヲ取外シ專ラ斃鼠ノ搜索ヲ爲シ同時ニ生鼠ヲ捕獲シタル後施行スヘシ但天井ハ自由ニ出入動作シ得ル場合ハ

取外サ、ルコトヲ得

前項ノ取外シハ鼠ヲシテ潜伏スル餘地ナカラシムル爲メ同時ニ着手スルコト

第九條 家屋其他建造物内外ノ清潔方法ハ左記各項ニ依ルヘシ

第一 天井

一 全部取外シノ場合ハ嚴重ニ鼠ノ搜索ヲ爲シタル後裏面ノ塵埃ヲ掃除シ其ノ裏面ニハ石炭酸水ヲ灌クコト

二 一部取外シノ場合ハ二ヶ所ニ人ノ自由ニ出入シ得ヘキ板ヲ取外シ係員ハ人夫ヲシテ燈火及箒ヲ携帶セシメ天井裏及屋根裏ノ鼠ヲ搜索シ消毒ポンプヲ以テ石炭酸水ヲ撒布シタル後塵埃ヲ除去シ最後ニ消毒ポンプヲ以テ石炭酸水ヲ灌クコト但構造防鼠的ニシテ且乾燥シ清潔ニシテ鼠糞ナク(猫ノ飼養スル等平素如キ)鼠棲息ノ虞ナキ場所ニ限リ特ニ消毒セサルコトヲ得

第二 屋根及屋根裏

一 屋根裏特ニ藁葺屋根ハ鼠ノ巢棲又ハ通行スルコト多キヲ以テ嚴重搜索ヲナスコト

二 屋上又ハ屋根裏ニ鼠巢又ハ通路アリト認ムルトキハ其部分ヲ剝キ之ヲ捨ツルコト

三 屋根裏ハ消毒ポンプヲ以テ石炭酸水又ハ昇汞水ニテ消毒スルコト

四 梁上等ハ箒又ハ刷毛ノ類ヲ以テ塵埃ヲ掃除シタル後石炭酸水又ハ昇汞水ヲ以テ消毒スルコト

五 交通遮斷地ニ接近シタル家又ハ有菌鼠ヲ發見シタル家ニシテ草藁葺ナルトキハ全部取除キ燒却スルコト

第三 羽目板

羽目板ハ第七條ニ依リ取外ツシラシタル後壁及板ノ中間ヲ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ以テ充分消毒スルコト但シ陰濕ニシテ鼠ノ交通シタル處アルトキハ其外部ヲモ消毒スルコト

第四 床下及床下地面

第五章 令達通牒

第五章 令達通牒

五百七十八

- 一 床高クシテ自由ニ出入働作スルコトヲ得ル場合ノ外ハ床板ノ全部又ハ過半ヲ取外ツシ鼠ヲ搜索シタル後塵芥ヲ掃除シ土臺枕木等ハ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ以テ消毒スルコト
- 二 床下ノ地面ハ鼠穴ノ有無ヲ檢シ鼠穴アルトキハ其部分ヲ掘起シテ鼠ヲ搜索シタル後全部石灰乳ヲ以テ消毒スルコト但酸化石灰及水酸化石灰ノ存在セサル場合ハ昇汞水ヲ用フルコトヲ得
- 三 穀物ヲ取扱フ場所乾物落花生芋屋古俵古麻袋襪襪紙屑類ヲ取扱フ營業場所及是等ノモノヲ藏置スル場所ノ床下又ハ多數ノ鼠穴アル部分ハ必ず全部掘起シテ前號ノ消毒ヲ爲スコト但シ堅牢ナル「コンクリート」又ハ漆喰敲キ若クハ「アスファルト」敲キニシテ鼠ノ侵入スル虞ナキ場合ハ掘起スルノ限リニアラス

第五 下水及流シ

- 一 下水ハ石灰乳ヲ以テ消毒シ且鼠ノ棲息又ハ通行セル虞アル部分ハ掘起スルコト
- 二 土地ニ接着シタル流シハ必ず取外シ鼠ノ搜索ヲ爲シタル後石灰乳ヲ以テ消毒スルコト

第六 家屋ノ内外

- 一 屋内ハ全部石炭酸水ヲ以テ消毒スルコト
- 二 戸棚、神佛棚、臺所、棧側、戸袋、梁上、押入ノ裏面ニアル鴨居ノ上面及長押ノ上面ノ如キ苟モ鼠ノ通行シ得ヘキ場所ハ特ニ注意シテ消毒スルコト

- 三 文庫藏ニシテ石造又ハ煉瓦造若クハ堅牢ナル土藏等ハ鼠穴鼠糞ヲ檢シ又ハ餌ヲ投シテ鼠ノ棲息又ハ通行シタルヤ否ヤヲ查覈シ其虞ナキモノニ限り特ニ消毒ヲ爲サルコトヲ得

- 四 外壁ハ陰濕ニシテ鼠ノ通行シ得ヘキ部ハ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ以テ撒布消毒スルコト

第七 疊建具器具及衣類等

- 一 疊建具等ハ石炭酸水ヲ以テ擦拭又ハ撒布消毒スルコト
- 二 衣類及器具等ハ石炭酸水ヲ以テ擦拭浸漬又ハ煮沸消毒ヲナスコト但シ衣類及器具ニシテ豫テ相當容

器ニ藏シテ多病毒汚染ノ虞ナシト認ムルトキハ消毒ヲ省畧スルコトヲ得

- 三 有菌鼠アリタル家及其附近ノ家ニアリタル衣類等ハ蒸氣消毒又ハ石炭酸水ニ浸漬消毒スルコト

- 四 物品ノ種類ニ依リ蒸氣消毒又ハ藥物消毒ニ適セザルトキハ日光消毒ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得此場合ハ曝露時間八時間以上タルヘシ

第十條 本清潔法ノ執行ニ依リ蒐集シタル塵芥其他ノ不潔物ハ一定ノ場所ニ搬出シ焼却スヘシ

第十一條 昇汞水ハ井戸端、臺所、寢室、居室、衣類、飲食器具及金屬裝飾アル部分及石灰ノ存在セル場所ニハ使用スヘカラス

第十二條 第九條第二項第五號及傳染病豫防法第十九條ノ二第一項ノ處分ヲ要スルハ速ニ知事ニ具申スヘシ

第十三條 本清潔法ハ警察官吏市吏員監視ノ下ニ施行スヘシ

附則

此規程ハ清潔方法ノ全部ヲ網羅シタルモノニアラス特ニ注意スヘキ點及施行ノ畫一ヲ期スル點ヲ規定シタルモノナルニ付本規定ニ明文ナキモノハ通常清潔方法ヲ參酌シテ施行スヘシ

(一三七) 示令第五十四號

警察署

檢疫醫

檢疫委員

一般除鼠の清潔方法左之通之ヲ定ム

明治三十六年示令第七十五號ハ之ヲ廢止ス

明治四十年六月二十一日

檢疫委員長

一般除鼠の清潔方法

第五章 令達通牒

五百七十九

第五章 令達通牒

五百八十

- 第一 本清潔法ハ特別消毒の清潔法施行區域外ニ施行スルモノトス
- 第二 本清潔法ハ警察官吏市吏員指導ノ下ニ衛生組合ヲ督勵シテ組合又ハ個人ヲシテ施行セシムルモノトス
- 第三 本清潔法ハ專ラ斃鼠ノ搜索及生鼠ヲ捕獲スルヲ目的トシ兼テ家屋内外ノ清潔ヲ期スルコト
- 第四 清潔法施行前三日乃至五日間殺鼠劑ヲ配置シ充分除鼠ヲ勵行シタル後着手スルコト
- 第五 清潔法施行前家屋内ノ疊建具什器商品等ハ全部屋外ニ搬出シ同時ニ疊及寢具等ハ日光ニ曝露スルコト
- 第六 臺所流シ口及下水吐口等鼠ノ出入シ得ヘキ部分ニハ着手前金網其他ノ方法ヲ以テ壅塞スルコト
- 第七 天井及床板ハ必ス其一部ヲ取外シ人夫ヲシテ燈火及箒ヲ携帶セシメ隈ナク鼠ノ搜索ヲ行ヒタル後塵埃ヲ除去スルコト但警察官吏市吏員ハ嚴ニ之ヲ監視シ必ス人夫ノミニ任カスヘカラス
- 第八 羽目板ハ鼠巢又ハ常ニ鼠ノ棲息若クハ出入シタル形跡アル部分ハ之ヲ取外ツシ搜索スルコト
押入及其上下戸袋等ハ鼠ヲ搜索シタル後塵埃ヲ除去スルコト
- 第九 流シハ必要ト認ムルトキニ限リ其一部又ハ全部ヲ取外シ鼠ノ搜索ヲナスコト
- 第十 斃鼠ヲ發見シタルトキハ其出所ヲ明カニシ木札ヲ付シ直ニ細菌検査係ニ送付スルコト但乾固シテ鏡檢ニ適セサルモノハ送付スルヲ要セス
- 第十一 穀類、落花生、芋類、古俵、古菰、古麻袋、襪襪、紙屑等ヲ取扱フ營業場所及是等ノモノヲ藏置スル倉庫物置其他常ニ鼠ノ集マルヘキ場所ニシテ特別消毒の清潔法ヲ施行ヲ要セスト認ムルモノニ對シテハ羽目板及地層ニ附着セル床板並ニ流シノ一部又ハ全部ヲ取外ツシ鼠族ノ發見ニ努メ鼠穴アリタルトキハ其ノ部分ヲ掘起シテ搜索スルコト但シ構造堅牢ニシテ鼠ノ棲息又ハ出入ノ虞ナシト認ムルモノハ此限リニアラス
- 第十二 本清潔法ニ依リ蒐集シタル塵芥其他ノ不潔物ハ必ス一定ノ場所ニ搬出シ可成燒却スルコト

(二三八ノ一)四衛發第二百六十一號

今回横濱市ニ發生シタル「ベスト」病ハ海外ヨリ輸入シタル貨物ニ附着シテ齎シタル病毒ニ依リ流行ヲ來シタルハ明カニシテ平素是等ノ貨物ニ觸接シテ荷役ニ從事スル人夫等ハ最モ危險ノモノト認メラレ候若シ是等ノ人夫又ハ職工ヲ多數使役スル會社若クハ運送店等ニ於テ一人ノ發病者アルトキハ少クモ旬餘ノ休業ヲ爲サルヘカラス延ヒテ經濟上ニ及ホス影響モ亦鮮少ナラサルヘクト被存候條此際船渠會社、中央倉庫、郵船會社倉庫、運送店、人夫請負業者其他多數人ノ集合スル家ノ家族及出入スルモノニ對シテハ普ク豫防接種ヲ行ハシムル様御取計相成度尙之レガ勸誘及實行方法等ニ付テハ所轄警察署ト御協議ノ上可然御取計相成度依命此段及通牒候也

明治四十年六月二十二日

第四部 部長

横濱市長宛

(二三八ノ二)四衛發第二百六十二號

「ベスト」豫防接種施行ノ儀ニ付横濱市長へ別紙ノ通り通牒相成候條市長ト協議ノ上至急實行候様御取計相成度尙施行ノ日取方法等決定候ハ、御報告相成度依命此段及通牒候也(別紙畧ス)

明治四十年六月二十二日

衛生課 長

市内各警察署長宛

(二三九)四衛發第二百六十七號

横濱市「ベスト」ハ漸次散發シ其病毒區域益々擴大トナリ豫後大ニ憂フヘキ形勢ナルハ誠ニ痛心ノ至リニ存候右ニ付之レガ豫防施設トシテ全市ニ除鼠の清潔方法并ニ消毒方法ヲ施行スヘキ旨今般縣令第六十九號御發布相成候ニ付テハ其日取及方法等市長ト御協議ノ上一般家屋ニ對シテハ本月示令第五十四號ニヨリ除鼠の清潔法ヲ執行シ病毒傳播ノ虞アル特別業體者ニ對シテハ同示令第五十三號ヲ標準トシ消毒の清潔方法ヲ御執行相成候様致度依命此段及通牒候也

第五章 令達通牒

五百八十一

第五章 令達通牒

明治四十年六月二十四日

市内各警察署長宛

衛生課長

五百八十二

(一四〇)四衛發第二百六十七號

横濱市「ベスト」豫防施設トシテ全市ニ除鼠的清潔法并ニ消毒方法施行ノ件縣令第六十九號御發布相成候ニ付テハ別紙ノ通市内各警察署長へ通牒爲致置候條施行ニ關スル日割及方法等所轄警察署長ト御協議ノ上嚴重御施行相成候様致度依命此段及通牒候也

明治四十年六月二十四日

横濱市長宛

第四部長

(一四一)神奈川縣令第七十號

傳染病豫防上必要ト認メ明治三十九年三月神奈川縣令第十四號倉庫取締規則第一條ニ依ル倉庫内ノ塵芥其他ノ掃キ寄セ物ハ當分ノ内當該吏員ノ指示ニ依リ焼却又ハ消毒方法ヲ施行シタル後ニアラサレハ構外ニ搬出スル事ヲ得ス本令ニ違背シタル者ハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス

明治四十年六月二十四日

知事

(一四二)示令第五十五號

今般神奈川縣令第七十號ヲ以テ倉庫内ノ塵芥其他掃キ寄セ物ノ處分方規定相成候ニ付テハ其消毒方法ハ左記各項ニ依リ措置スヘシ

横濱市内各警察署

一 成ルヘク倉庫敷地内又ハ接近シタル場所ニ塵芥焼却場及消毒裝置ヲ設置セシムルコト

二 塵芥ハ必ス燒却スルコト

三 掃キ寄セ米其他ノ屑物ハ蒸氣消毒又ハ煮沸ヲナスコト

明治四十年六月二十四日

警務長

(一四三)示令第五十八號

壽町警察署日下分署
神奈川警察署
「ベスト」豫防上必要ト認メ候ニ付自今其署部内左記区域内ノ死者ニ對シテハ左記各項ニ準據シ死體檢案ヲ行ハシムヘシ

明治四十年七月一日

警務長

日下分署久良岐郡屏風ヶ浦村
大岡川村

神奈川署橋本郡保土ヶ谷町
玉安村

- 一 豫メ町村長ニ協議シ埋火葬認許證ノ交付ヲ請フモノアリタルトキハ直ニ其氏名年齢病名及主治醫ノ氏名ヲ警察署ニ通知セシメ死體檢案ヲ了シタル後ニアラサレハ認許證ヲ交付セシメサルコト
- 二 檢案ハ其署配置ノ檢疫醫又ハ檢疫委員ヲシテ之ヲ行ハシムルコト(日下分署ハ「檢案ハ壽町署配置ノ檢疫醫ヲシテ行ハシムルコト」トスルコト)
- 三 檢案ハ總テノ死者ニ對シテ之ヲ行フ方針ナルモ一年未滿ノ幼者又ハ八十歳以上ノ老衰者若クハ外襲性變死者及二十日以上病院ニ入院シタル死者等ニシテ死因疑ナキモノニ限り省署スルコトヲ得
- 四 檢案ノ際「ベスト」ノ疑アリト認ムルトキハ電話其他ノ方法ヲ以テ即報スルコト但便宜檢疫醫ヨリ當部又ハ當部勤務ノ檢疫醫ニ報告スルモ妨グナシ

(一四四ノ一)四衛發第二百六十一號ノ二

第五章 令達通牒

五百八十三

第五章 令達通牒

五百八十四

客月二十二日付四衛發第二百六十一號ヲ以テ特定業者ニ對シ一般「ペスト」豫防接種ノ件ニ付之ガ勸誘實行方所
轄警察署長ト御協議ノ上執行相成度旨依命及通牒置候處米穀商家族及米搗等ニ從事スル者モ同様該接種執行必
要ト相認候條是亦實行方可然御執行相成度依命此段及御通牒候也

明治四十年七月二日

第四部 長

(一四四ノ二)四衛發第二百六十二號ノ二

客月二十二日付四衛發第二百六十二號ヲ以テ及通牒置候特定業者ニ對スル「ペスト」豫防接種ノ件ハ已ニ御實行
相成居候處米穀商家族及之等從業者モ同様豫防接種必要ト被認別紙ノ通り横濱市長へ通牒相成候ニ付市長ト御
協議之上實行方可然御取斗相成度依命此段及通牒候也(別紙畧ス)

明治四十年七月二日

衛生課 長

市内各警察署長宛

(一四五)神奈川縣令第七十五號

明治三十五年^{十月}神奈川縣令第六十三號中横濱市内ノ下ニ「横須賀市内」ノ五字ヲ追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十年七月五日

知事

參照明治四十二年^{五月}縣令第三十九號ヲ以テ廢止

(一四六)四衛發第三百十二號

「ペスト」豫防接種二回以上ヲ行ヒ現ニ有効期間即チ六ヶ月以内ノモノハ假令交通遮斷區域内ニ屬スルモノト雖

モ隔離ヲ省畧スル事ニ應議御決定相成候條爾今右ニ準據シ御取扱相成度依命此段及通牒候也

明治四十年七月八日

警務 長

各郡市長宛

同文

同日

衛生課 長

各警察署長宛

(一四七)訓第三百二十七號

其保土ヶ谷町ニ「ペスト」患者續發シ流行ノ兆アルニ就テハ同町ニ對シ左記各項ヲ施行セシムヘシ
右訓令ス

橘樹郡 役所

明治四十年七月九日

知事

- 一 鼠族ノ驅除ヲ勵行セシムルコト
- 一 前項鼠族ノ驅除ヲ獎勵スル爲メ相當ノ代價ヲ以テ買上シムルコト
- 一 買收シタル鼠ハ木札ヲ附シ其出所ヲ明記シ細菌検査係へ送付セシムルコト
- 一 總テノ死者ニ對シ死體檢案ヲ行ハシムルコト
- 一 全町ニ對シ除鼠の清潔方法ヲ施行シ蒐集シタル塵芥ハ必ス燒却セシムルコト
- 一 注意區域及注意ヲ要スル業體者ニ豫防接種ヲ爲サシムルコト

(一四八)示令第六十一號

第五章 令達通牒

神奈川警察署

五百八十五

「ベスト」豫防ニ付桶樹郡役所へ別紙ノ通り訓令相成候條其署ニ於テモ該令ニ準據シ豫防上遺策ナキヲ期スヘシ
(別紙省畧ス)

明治四十年七月九日

警務長

(一四九)神奈川縣令第七十九號

明治三十五年^十神奈川縣令第六十三號中子安村ノ下ニ「保土ヶ谷町、矢崎村、宮川村」ノ十一字ヲ追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年七月十一日

知事

參照明治四十二年^五縣令第三十九號ヲ以テ廢止

(一五〇)訓第三百三十九號

桶樹郡役所

其郡保土ヶ谷町ニ「ベスト」患者續發シ蔓延アルニ付テハ同町ト接續セル宮川村及矢崎村ノ如キハ何時病毒ノ侵襲ヲ蒙ルヤモ難斗ニ付兩村ニ對シ明治四十年七月訓第三百三十七號ヲ準用施行セシムヘシ
右訓令ス

明治四十年七月十一日

知事

(一五一)示令第六十一號ノ二

本日訓第三百三十九號ヲ以テ桶樹郡役所へ別紙ノ通り訓令相成候條其署ニ於テモ豫防上遺策ナキ様注意セララルヘシ

明治四十年七月十一日

警務長

神奈川署長宛

(一五二)神奈川縣令第七十八號

明治四十年^六神奈川縣令第六十四號中橫濱市内ノ下ニ「及桶樹郡保土ヶ谷町、矢崎村、宮川村」ノ十五字ヲ追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年七月十一日

知事

參照明治四十年^{十一月十四日}縣令第九十七號ヲ以テ廢止ス

(一五三)示令第四十八號ノ二

橫濱市内各警察署

内地各地方ヨリ橫濱ニ輸入スル生絲及屑繭ノ被包物中ニハ本年六月神奈川縣令第六十四號ニ該當スル物件アルモ右ハ無病地ヨリ輸入シタルモノヲ解装スルト同時ニ返送スル場合ハ別段危険ノ虞無之ニ付是等ノ物件ニ對シテハ本年六月示令第四十八號第二項後段ニ準據シ第二號様式ノ證明書ヲ交付スヘシ
明治四十年七月十五日

警務長

(一五四)示令第六十六號

警察分署

「ベスト」豫防ニ關スル交通遮斷區域豫防區域及注意區域設定規程左ノ通り之ヲ定ム
但從前ノ規定ニシテ本文ニ牴觸スルモノハ總テ廢止ス

第五章 令達通牒

第五章 令達通牒

一 交通遮斷區域

五百八十八

- 一 患者又ハ死者ヲ發見シタルトキハ直ニ關係市町村ニ通知シ遮斷區域ヲ協定スヘシ但シ市町村ノ意見ト相乖離シ協議整ハサルトキハ速ニ本官ニ申報スヘシ
- 二 遮斷區域ハ鼠族ノ交通及附近住民ノ業體等土地ノ狀況ニ依リ伸縮スルノ必要アルニ付充分實地踏査ノ上決定スヘシ
- 三 遮斷區域内ノ住民ハ成ルヘク速ニ隔離所ニ收容スヘシ但隔離所ノ都合ニ依リ收容シ難キ場合ハ醫師ヲシテ毎日二回以上健康診斷ヲ行ハシムルコト

一 豫防區域

- 一 交通遮斷區域内ノ周圍及病毒汚染ノ虞アリト認めタル場所ノ周圍約一町以内(地形ト場合ニ依リ伸縮スルハ勿論トス)ノ地域並ニ遮斷解除地域其他特ニ指定シタル地域ヲ豫防區域ト爲スヘシ
- 二 豫防區域内ハ毎日醫師ヲシテ健康診斷ヲ行ハシムヘシ
- 三 豫防區域内ハ消毒の清潔方法ヲ施行シタル後十日間ヲ經過シ患者又ハ有菌鼠ナク全ク病毒殘留ノ虞ナシト認ムルトキハ注意區域ニ編入スルコトヲ得
- 四 前項ノ編入ヲ爲サントスルトキハ豫メ本官ニ稟議スヘシ

一 注意區域

- 一 注意區域ハ左記各號ニ依ルヘシ
- 一 前項第三號ニ依リ編入シタル地域
- 一 米穀商古物商襪樓又ハ屑物商及是等ノ物品ヲ取扱フ者
- 一 船夫、船行人足運送店運送人夫、艦船行商、塵船營業者及其船夫等
- 一 木賃宿、人足請宿、細民部落其他特ニ必要ト認ムル場所
- 一 注意區域内ハ毎日巡查ヲシテ健康視察ヲ行ハシメ病者ヲ發見シタルトキハ醫師ヲシテ診斷ヲ行ハシムヘシ

一 注意區域ヲ撤退セムトスルトキハ豫メ本官ニ稟議スヘシ

明治四十年七月二十一日

檢疫委員長

(一五五)神奈川縣令第九十七號

明治四十年六月十一日神奈川縣令第六十四號及七月十一日同令第七十八號ハ之ヲ廢止ス

明治四十年十一月十四日

知事

(一五六)神奈川縣訓令第四十八號

明治四十年^六訓令第三十四號ニ依リ其市ニ設置シタル豫防委員ハ本月十五日限り之ヲ廢止スヘシ

明治四十年十一月十四日

知事

(一五七)一)警衛發第八百八號

「ベスト」豫防ノ爲メ本年七月以來施行中ニ係ル御部内左記町村ニ於ケル死體檢案ハ便宜上檢疫醫ヲシテ施行セシメ居リ候處本月二十日限り廢止致候ニ付爾後急病其他疑ハシキ病死者アルタルトキハ町村醫ヲシテ右檢案ヲ爲サシムル様御取斗相成度依命此段通牒ニ及ヒ候也

明治四十年十二月十六日

警務長

橋樹兩郡長宛

久瓦岐兩郡長宛
施行町村(保土ヶ谷町矢崎村宮川村)
子安村屏風ヶ浦村大岡川村)

(一五七)二)同 號

第五章 令達通牒

五百八十九

第五章 令達通牒

五百九十

「ベスト」豫防ノ爲メ御部内左記町村ニ於ケル死體檢案ハ去ル七月一日付示令第五十八號ニ依リ檢疫醫ヲシテ施行セシメ居リ候處本月二十日限り廢止シ爾後ハ急病其他疑ハシキ死者アリタルトキ當該町村醫ヲシテ右檢案ヲ爲サシムル様今十六日付ヲ以テ警察部長ヨリ郡長ニ對シ依命通牒相成候條御了知相成度此段及通牒候也

明治四十年十二月十六日

衛生課長

神奈川、日下兩署長宛

(左記省署)

(一五八)神奈川縣令第五十號

明治三十八年^{十二}月^二神奈川縣令第五十二號中第一項及第二項ノ「神戸市大阪市」ノ下「下ノ關市及兵庫縣津名郡洲本町山口縣豊浦郡王司村并廣島縣佐伯郡大竹村」ノ三十四字ヲ削リ「奈良縣内」ノ四字ヲ加フ本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年五月二十日

知事

(一五九)警衛發第三百一號

依命通牒

明治四十一年五月二十日

警察部長(課長)

各郡長
各警察署長

「ベスト」豫防ノ件

目下奈良縣下北葛城郡内ニ於テハ「ベスト」流行シ初發以來患者九名ヲ算シ益々蔓延ノ兆有之候趣ニ付テハ何時病毒ノ來襲ヲ被ムルヤモ難斗折柄今般縣令第五十號發布相成該病豫防措置ヲ周到ナラシメントノ趣旨ニ可有之ト存候季節恰モ觀光若クハ神佛參詣等旅行ニ適セルニヨリ自然關西地方ニ遊覽スルモノ頗ル多カルヘク此等ノ

歸來者ニ就テハ充分ナル視察ヲ遂ケシムル様豫メ衛生組合等ニ示諭シ尙縣令指定ノ地方ヨリ輸入セル貨物アリタルトキハ規定ニ依リ届出ヲ怠ラサル様御警戒相成度依命此段及通牒候也

(一六〇)示令第五十一號

横濱水上警察署

明治三十六年^{十一}月^一縣令第六十四號ニ依リ取締ルヘキ船舶内ノ塵芥掃寄米穀落綿等ニシテ近來認可ヲ受ケスシテ陸揚スル者アルヤニ聞ク刻下横濱市内ニテ續々發見スル「ベスト」有菌鼠ハ未タ其系統判明セスト雖モ或ハ是等ノ物件ヲ介シテ病毒ヲ受入セルニハアラサルカト思料セラル、ニヨリ此際本件ニ關シテ最嚴重ナル取締ヲナシ豫防施設ノ目的ヲ達スル上ニ於テ遺憾ナキヲ期スヘシ

明治四十一年六月十六日

警務長

(一六一)警衛發第三百七十四號

依命通牒

明治四十二年六月十九日

衛生課長

横濱市内各警察署長宛

「ベスト」豫防ニ關スル件

目下横濱市内ニ續發スル「ベスト」有菌鼠ハ其系統未タ判明セスト雖モ船舶ヲ介シテ海外諸港其他有病地ヨリ受入セルモノト認メラレ候ニ就テハ該船舶内塵芥掃寄米穀等ハ最モ危険ナル物件ニ付是等ノ取締ニ關シテハ本日水上警察署ニ訓達相成候、其該物件ハ自然御部内ニ輾轉受入セラル、モノト被存候條此際左記各項御注意相成相當御措置相成度依命此段及通牒候也

一 船舶又ハ倉庫(倉庫取締規)ヨリ掃寄米穀雜貨等ヲ買受賣受若クハ交換等ヨリ受入スル者ノ有無調査ノコト

第五章 令達通牒

五百九十一

- 一 前項物件ヲ仲買又ハ小賣等ヲ爲ス者ノ有無調査ノコト
- 一 船行人足解船船夫艦船行商塵船營業者等ノ業體者ニツキ視察スルコト
- 一 各波止場、川筋沿岸倉庫附近ハ特ニ巡邏ノ際視察ノコト
- 一 前諸項ノ外是等ノ物件受授ニ關スル視察ヲ嚴ニスルコト

(一六二)警衛發第三百七十五號

依命通牒

明治四十一年六月十九日

水上警察署長宛

衛生課長

明治三十六年縣令第六十四號ニ基ク船舶内塵芥類取締ノ件ニ付示令第五十一號御發布相成候ニ付テハ夫々御計畫中ト存候得共大様左記標準ニ據リ御取扱相成候様致度依命此段及通牒候也

追テ陸上警察署ニ對シテ同様ノ趣旨ニテ沿岸警戒方通牒致置候條御含迄申添候也

標準

三十六年縣令第六十四號指定地ヨリ入港船アリタル時ハ一般ノ取調ヲ爲スノ外塵芥灰燼ヲ船卸スルヤ否ヤヲ問ヒ船卸スルトセハ何レノ會社カヲ推問シ尙該會社ガ正當手續ヲ爲スヤ否ヤヲ嚴正ニ視察スルコト

五大力船達磨船其他ノ解船ニシテ指定地ノ貨物ヲ荷取セルモノ、塵芥ハ同様取扱ヲ爲スハ勿論掃寄米穀落綿ハ未消毒ノ儘陸揚セシメサルコト(沿岸ニ時々私服巡查ヲ出シ是等ヲ視察スルコト)

港内ニテ塵芥ヲ積載セル塵芥ヲ認メタル時ハ何レヨリ船卸セルヤヲ調査シ該本船ニシテ指定地ニ係ル時ハ手續ノ有無ヲ檢シ手續未済ノモノハ一定ノ場所ニ繋留セシム手續完了ノ塵船アル時ハ直ニ陸揚地警察署ニ通知スルコト(塵船ノ番號數量艘數)

港界外ニ投棄處分ヲ爲ストキハ巡查ヲシテ之ニ立會セシム(處分ノ結了迄)

燒却消毒執行地ノ陸上警察署ハ其執行ノ結了迄立會シ其願末ヲ報告スルコト

水上署ハ當分ノ内左記ノ事項ニ依リ其取扱ニ係ル塵船ノ種類船數及投棄陸揚ヲ明細ニ記シ一週間毎ニ報告スルコト

縣令第六十四號ニ依ル塵芥類處分表

第一種塵船	何艘	内	投棄	何艘
第二種塵船	何艘	内	陸揚	何艘
同上第二種塵船取扱本船航路別	何航路	何航路		

- 一 當分ノ内各派出所ニテハ艦船行商船ノ歸來ニ當リ掃寄米穀類ノ有無ヲ調査シ派出所以外ニハ神奈川方面防波堤出入口又ハ其他ノ要所ニ臨時(歸來時ヲ見計ヒ)巡查ヲ派遣シ同様ノ取締ヲ爲スコト
- 一 港内巡回員ハ艦船行商ノ行動ヲ視察シ前項物件ヲ受入セシメサルニ孜ムルコト
- 一 沖人夫ノ手ヲ介シテ前項物件ヲ陸上ニ輸スモノヲ防止スル爲メ米砂糖等ノ荷役ニ從事中ノ人夫ハ時々視察スルノ外波止場ニ於テ隨時身體検査ヲ爲ス等適當ノ方法ヲ講スルコト

(一六三)神奈川縣令第十四號

傳染病豫防法第十九條ニ依リ縣下全般ニ對シ清潔法ノ施行ヲ命ス當該吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ消毒方法ノ施行ヲ命スルコトアルヘシ

土地家屋其他建物ノ所有者又ハ占有者ハ當該吏員ノ指示シタル期日及方法ニ依リ施行スヘシ

明治四十二年三月九日

知事

(一六四)示令第十四號

第五章 令達通牒

横濱市内各警察署

五百九十三

第五章 令達通牒

五百九十四

清潔法及消毒法施行ニ關シ今般縣令第十四號發布相成候ニ付テハ市長ト協議シ明治四十二年四月示令第三十七號
清潔法施行標準ニ據リ嚴重ニ執行スヘシ

明治四十二年三月九日

警務長

(一六五) 示令第十五號

警察分署

清潔法及消毒法ノ施行ニ關シ今般縣令第十四號發布相成候ニ付テハ所轄郡市長ト協議シ明治四十一年四月示
令第三十七號清潔法施行標準ニ據リ嚴重ニ執行スヘシ

明治四十二年三月九日

警務長

(一六六) 警衛發第百十號

依命通牒

明治四十二年三月九日

衛生課長

各警察署長分署長宛

清潔法施行ニ關スル件

客年中ニ發生セル各種傳染病患者ハ其數通シテ三千五百二十六名之ヲ前年ニ比スルニ別表示ス如ク約二倍強ノ
多キニ達シ就中郡部ニ於ケル腸窒扶斯ハ從來未曾有ノ大流行ヲ極メ又橫濱市ニ於テハ「ペスト」病鼠ノ頻々ト
シテ發見セラル、ハ其都度及通報置候通リニ有之今ヤ病毒萌芽ノ季節ニ先チ充分之ガ撲滅ヲ企圖スルニアラス
ンハ何時之等ノ病毒暴發シ悲惨ノ禍害ヲ蒙ルヤモ難測是今回縣令第十四號御發布及示令第三十七號御令達相成
タル所以ニ外ナラスト存候就テハ農繁其他ノ故障ヲ避ケ可成豫定期日內ニ終了候様特ニ御配意相成度候也

(一六七) 警衛發第百十二號

依命通牒

明治四十二年三月九日

警務長

各郡市長宛

清潔法執行ニ關スル件

縣令第十四號ニ基キ施行スヘキ清潔法ノ件ニ付別紙ノ通り各警察署長ニ訓達シ且通牒爲致置候ニ付テハ昨四十
一年四月十一日付警衛發第百十號ニ依リ可然御執行相成度候也

(一六八) 警衛發第百十五號

依命通牒

明治四十二年四月二十八日

衛生課長

市内各警察署長宛

「ペスト」豫防ニ關スル件

「ペスト」豫防ノ件ニ關シテハ從來屢々訓令相成諸般ノ設備其當ヲ得ラル、ノ結果四十年八月九日橫濱市南太
田町ニ最終患者ヲ出シタル後今日迄一ノ患者ヲ發生セサリシハ御同慶ノ至リニ存候然ルニ同病病毒ハ今尙絶滅
ニ至ラズ昨今ハ別表ノ如ク有菌鼠ノ發見頻々トナリ其區域亦擴大シ頗ル憂悞ニ堪ヘサルノ狀況ニ有之候條此際
本件ニ關スル施設ヲ益々勵行シ特ニ左ノ諸件ニ就テハ深ク御高配相成候様致度候也

一 市役所ト協議シ右衛生組合ニ對シ別表ヲ示シ鼠族驅除ヲ勸誘シ併セテ捕鼠提出ノ必要ヲ懇示シ患者發生ノ爲
メ將來受クヘキ損害ヲ未發ニ防ク様指導スルコト

一 健康視察ヲ周密ニスルコト

一 明治三十八年縣令第三十八號ヲ勵行スルコト

第五章 令達通牒

五百九十五